



大型商品や-70°Cまで耐冷対応できる 恒温恒湿器を追加導入いたしました！

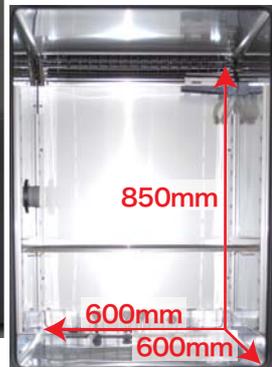


このたび皆様のご要望にお応えして、東京生活用品試験センターに**恒温恒湿器を追加導入**しました。恒温恒湿器とは、庫内の温度・湿度環境をコントロールして、試験体を様々な温湿度環境下に置くことができる試験機です。また、時間ごとに温湿度を変化させ、サイクル試験を実施することもできます。

type1 -70°C~100°Cまで設定可能



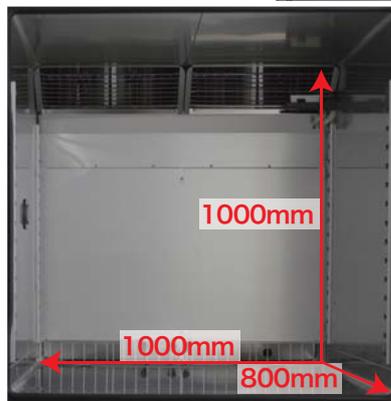
▼庫内サイズ



type2 -40°C~100°Cまで設定可能



▼庫内サイズ



試験依頼例

事例 1 ポリプロピレンフィルム製の袋の耐冷温度「-60°C」が問題ないか確認したい！



試験方法

-60°Cの低温槽の庫内に1時間保持した後、試料を取り出し、2時間放置後に機能の異常または著しい変形が生じているか否かを確認する。

事例 3 輸入した靴をみると、靴のソールが変色していた。なぜ??



再現試験

高温多湿の状況下での環境試験（通称：ジャングル試験）を実施すると、アッパーの色がソールに移っていた。
《補足》アッパーの染色に使用されていた分散染料が高温多湿の状況下に長時間置かれ、ソールに移染した可能性がある。

防止案

靴の構造や甲材料・染料、輸送中の環境等を見直す必要がある。

事例 2 木製椅子が輸送中に反ってしまった!! なぜ??



再現試験

製品状態のまま庫内に入れ輸送コンテナを再現した高温多湿状態の環境試験を実施してみると、座板が反った。

防止案

木材の種類、輸送中の環境等を見直す必要がある。
☆**庫内サイズ内であれば、製品状態のまま試験することが可能!**

その他の試験例

耐低温、耐高温、耐湿度による耐久性試験・寿命試験

温度変化、湿度変化への耐性を確認する
温度サイクル・
温湿度サイクル試験

供試品梱包状態での保存試験

製品輸送時に遭遇する温湿度環境が、製品に与える影響調査

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京生活用品試験センター
担当：神門・大口・末永

TEL:03-5669-1382/FAX:03-5669-1387

オリジナル試験も
ご提案させていただきます!

